

令和 2 年度 学校自己評価表 (計画段階・**実施段階**)

福岡県立育徳館高等学校長

印

3

学校運営計画(4月)				評価(3月)		
学校運営方針		育徳館の歴史と伝統を礎にして、次世代を担う「徳」・「知」・「体」のバランスのとれた人材(次世代のリーダー)の育成に努める。				
昨年度の成果と課題		年度重点目標		具体的目標		
成果 ○新学習指導要領に関する研修を行い、理解を深めた。 ○生徒の主体性を重視した特別活動や部活動を行った。 ○大学入試改革に関して適切に情報提供を行うことができた。 課題 ○授業改善に取り組み、教科指導力を向上させる。 ○生徒の自主性・主体性を育む。 ○進路学習、キャリア教育を充実させる。		○新学習指導要領への移行を踏まえた授業改善の推進		○主体的・対話的で深い学びの実践を目指した授業改善に取り組む。		
		○新学習指導要領への理解を深め、指導と評価のあり方について研究を進める。		○生徒の主体性を生かした学校行事等を行う。		
		○遅しさと粘り強さを備えた人材を育成する特別活動・部活動の充実		○部活動・生徒会活動の活性化を図り、次世代のリーダーたる全人教育を行う。		
		○人権教育・道徳教育・特別支援教育の充実		○生徒の人権意識の涵養を図り、お互いの人格を尊重し合える学校づくりを目指す。		
		○高大接続改革の動向を踏まえた進路指導・キャリア教育の充実		○大学入試改革に伴う新たな学びに対応した進路教材や各種検定の有効活用について研究を進める。		
		○「総合的な学習(探究)の時間」における学びの内容を充実させる。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
教務部	新学習指導要領に対応した授業改善の推進	主体的・対話的で深い学びの実践に向け、効果的な指導方法や評価のあり方について共通理解を深める。	A	A	1 新学習指導要領に対応した学習内容及び学習評価の検討する。 2 計画的・効果的な教科指導のための授業時間・授業進度の確保する。 3 計画的な職員研修及び若年教員に対するOJTを推進する。	
	学校の教育力向上に向けた職員研修の充実	教科主任会議を開催し、中高一貫の教育課程や授業進度について、検証・改善を行う。	B			
		教科指導力の向上に向け、計画的に「授業アンケート」「公開授業」「研究授業週間」を実施する。	B	A		
		各分掌・各種委員会と連携し、直面する様々な教育課題に関する職員研修を計画・実施する。	A	A		
生徒部	生徒の人権・人格を尊重した積極的生徒指導の充実	生徒の主体性を尊重した学校行事運営を行い、生徒の自己有用感を高め、学校の活性化を促進する。	B	A	1 保護者との連携のもと、日常の指導をととして規範意識の醸成を図る。 2 特別活動や部活動をととして生徒の主体性・リーダーシップを育成する。 3 いじめの未然防止・早期発見に努め、道徳教育・人権教育を充実させる。 4 スクールカウンセラー等と連携し教育相談を充実させる。 5 職員間の共通理解を図り、組織的・計画的に学校安全に取り組む。	
		いじめ問題等に組織的に対応するため、学校いじめ防止基本方針の周知を図り、教育相談体制を充実させる。	A			
	生徒の健康と安全を確保する学校保健・学校安全の充実	スクールカウンセラーや養護教諭と連携し、教育相談を充実させる。	A			A
		学校安全に関する危機管理マニュアルを充実させ、学校安全の組織的取組を推進する。	A			A
	寄宿舎「育徳寮」における生徒指導の充実	保護者の協力のもと、生徒が寮生活のきまりを守り、規則正しい学校生活が送れるよう指導する。	A	A		
		関係職員が連携・協力して業務に当たれるよう適切な舎監計画を作成する。	A	A		
	人権感覚や道徳的態度を育む教育活動の充実	計画的な人権教育や道徳教育を実施し、互いの人権や人格を尊重する態度を育てる。	A	A		
		配慮が必要な生徒について職員間で情報を共有し、適切かつ組織的に対応する。	A	A		
進路部	高大接続改革に対応した進路指導の充実	入試に関する進路情報を適切に提供し、生徒自身の主体的な進路選択と進路決定を支援する。	A	A	1 生徒の主体的な進路選択を促すため、進路学習を計画的に実施する。 2 英語検定全員受験の取組みを充実させ、上位級取得率の向上を目指す。 3 模試計画を整理・精選し、事前事後の指導を充実させる。 4 キャリアパスポートの活用について共通理解を深め推進を図る。	
		各学年に応じた進路学習を適切に行うとともに、校外テスト等を計画的に実施し、事前事後の指導を充実させる。	A			
		「中高一貫キャリア教育年間指導計画」の実施と改善	B			B
		ポートフォリオ教材「キャリア・パスポート」を活用し、自己の在り方や社会との関わりについて考えさせる。	B	B		
育徳創造部	本校の魅力を発信する広報活動の充実	「体験入学」の実施や学校紹介の印刷物を充実させることで、積極的な広報活動を行う。	A	A	1 広報活動を充実させ、学校の魅力を積極的に発信する。 2 学校ホームページ・学校一斉メールを適切かつ有効に活用する。 3 読書活動や芸術文化活動を推進し、生徒の情操を豊かにする。 4 情報機器の適切な管理・保管を行い、利用しやすい環境を作る。 5 PTA・同窓会・関係団体との連携・調整を図り、教育活動を充実させる。	
		学校紹介に関する資料の収集整理を行い、情報を広く地域に発信する。	A			
	図書教育及び芸術文化事業の充実	定期的選定委員会を開催し、生徒の読書活動の推進を図る。	A			A
		芸術文化活動等をととして、豊かな感性と情操を育む。	B			A
	コンピュータネットワークの管理	コンピュータネットワークの適切な維持と管理及びホームページ等の更新と内容の充実を図る。	A	A		
		ICT活用事業における計画・立案を行う。	A	A		
ブランド化推進部	PTA・同窓会・地域との連携・協力体制の強化	記念行事や学校行事の開催において、PTAや同窓会との積極的な連携を図る。	A	A		
		PTAや同窓会、地域の協力を得て、魅力ある教育活動を充実させる。	A			